

**【13チャクラリーディングと7-12月の高次のメッセージ】** (体験サンプルセッション) R様 2014年6月  
期間限定 6月4日~7月27日

①ルートチャクラ〈生命の根源・生存意識・住居・生計にかかわる金銭感覚・肉体生命力・先祖・家系・民族的な情報・念動力〉

(紫と赤) 精神世界に生きることで、バイタリティーや生命力が湧いてくる。それが自己の存在を非常に肯定するもの。本来は肉類をとると、もっとスタミナ出て強くなる。特に赤身の牛肉。体はもともと太りにくい。筋肉質。

(青) 生活が安定しつつある、というかここ数ヶ月のうちに安定してきた。安定してきたことが自信につながり、よりバイタリティーが湧いて活動的になる。

(緑) 自分より少し背が高い緑の木を愛でている。「木は友だち」。人間と話すように木と対等に話している。木はあなたの良き生存の理解者。

(茶色) 土地、父親の画像。大地のような土台となる存在。守られているが、その土地の上では自由にさせてもらえている。恵み。

②丹田のチャクラ〈感性・個性・感情・感覚・創造力・感情とお金・性的直感セクシャリティ (女性性・男性性)〉

(紫) 神秘的な女性性。表情やおもては明るい、快活な印象だが、どこかとらえどころのない女性。他者からそう見られているし、実は自分でも自分自身のとらえどころがない。理想、こうありたい、という意志やビジョンを持つと、女性としての理想像は体現できる。

女性性が活発。疲れたり、体が重い時を除き、ホルモンや女性エネルギーはよく流れている。気の影響で、滞りやすきはあるが、回復が速い。

(黄緑) 感性が若い。新しいもの、面白いものを試そうとする。実際にトライすることがアンチエイジングになっている。気が若々しい。これは今後も一生続く気質。ただし、一応、ルーティンや古風なものにも順応はできる。

(濃い緑) 日本庭園が視える。ある程度、手入れの行き届いた自然を愛でる。

③太陽神経そうのチャクラ〈行動や実践力を伴う直感的行動力・組織内での自己や役割自信・行動習慣〉

(レモン色) 行動力、思い立ったらすぐ赴く、足が軽い。乗り物を必要以上に利用するより、足を使って歩くことを好む。足を使うとウキウキする。

(オレンジ) 一期一会や、出先であった人たちとすぐ意気投合する。それによって、相手からも実はエネルギーをもらっている。握手をするようにエネルギーの交流を楽しんでいる。

(空色) 両手を空に向かってYの字に広げている。ヤッター!とか、凄い喜んでいる。思ったことが、思った以上に実現、実感するみたい。その実現したこともだが、自分を信じて行動していいんだ!と納得できたことが嬉しい。

④ゴールアンスターのチャクラ〈理論と感情のバランス・プロセスの遂行・準備・忍耐・賞賛を受ける・使命と目的のある行動・バランスの取れた行動〉

(きれいなピンク紫) 独特、個性的な基準があって理論と感情のバランス、均衡を保っている。他の人が同じようにはできない、あなたならではの加減がある。それが周りからは、あなたの独特な雰囲気としてみえている。気ままに感情を豊かに出しているようで、しっかり自己管理ができています。

(エメラルドグリーン) グリーンとブルーの色合いが美しいエネルギー。自分が思っている以上に、バランスがとてもよく取れている。絶妙。あなたがやっているすべてのことが、バランスがいい。特に今年の2月頃から、バランスだけでなく全体的な質が上がっている。質が上がってくると、タイミングが絶妙になる。まるで用意されたかのように。あなたもすでにそれは実感しているはず。日々の中で、ある幅の波動域をさざ波のように上下している。

(レモン色と黄緑色の蛍光色) 男性がこちらに腕を伸ばしている。今後出会う人なのか、ごく最近出逢った男性。ややあなたより高い立ち位置から手を伸ばして誘導しようとしてくれている。その人はオレンジ色の明るい光に包まれている。ガイド役。その人にしばらく従っていい。時期がきたら、別の人(男性)が手を伸ばしてくる。

(サーモンピンク) マリアテレジアのような、女王のような風格の女性(白人)が出てくる。「自分を信じて進みなさい」と。

#### ⑤ロワー・ハートチャクラ〈人生の目的・自己評価・寛容と許し・才能の開花・自立のテーマ〉

(非常に濃い紫、濃紺紫。岩のりみたいな黒に近い紫色) 非常に堅い石、花崗岩なのか、強固な石によってできた大地。維持とか頑固という意味ではなく、かっこたる強固な信念。そこにストレスはないし、本人が望んでいることではあるが、常にふんばりが必要。人生の目的や自分の在り方、有り様への職人的こだわり。それにかけてはプライドが高い。

(黒) 許せないことがある。もはや、許し方がよくわからない。日々の生活に直接影響はないものの、それによって、人生でまだ実現しがたいことがある。他の方法で取り組むこともできるが「許す」のが最も核心に近く、確実な方法。ひねり、異なる視点が必要。今年は、そのとある「許し」を達成しやすい。とりあえず、頭の片隅、ハートの一部でそれを意識しておいて。

(紫) 濃い紫色のユリの花が一輪。背景は暗いのか、黒いのか。この花は才能の現れだが、周りが暗くて見えない、というか見せていない。自分がソコにいることを知らせていない。知らせることを忘れているのか、単に主観で時期を待っているのか。ただ、誰かの助けや導きがないと、ソコから明るい場所へ移動して咲けない。もうしばらく時期待ちのよう。

#### ⑥ミドル・ハートチャクラ〈愛・叡智・自己と他者を癒す能力〉

(黄緑がかった黄色) 明るく輝いている。愛に対する確信がある。ともすれば無邪気に愛を信じているし、あなたには愛の有無がすぐわかる。子供のよう。どんな人に対しても、この人の愛はどこにあるのだろうと、興味深く見つめ、そして見いだす才がある。まるで咲いている花を見つけるかのように、花の香りで愛の在処がわかる。

(紅色) 深い叡智をもっている。それは年月を経て培ったもの。しかし、暗さや重さはなく、悟りの中に明るさやユーモアを見いだしている。それによって、あなたは退屈することがない。

(青緑) 人を癒すときにほんの多少だが、自らの犠牲を伴っている。そのことにどこかで気づいているはずだが、気に留めていない。しかし、この小さな犠牲がつもりつると、あなたは元気がなくなってしまう。自分を労るだけの、適度な休息と癒しは必要。

#### ⑦ハイヤー・ハートチャクラ〈自己の感覚を信じる・心を開き他者を信じる・感情を分かち・感情的リスクを取る〉

(マゼンダがかった真っ赤) 非常に鋭い、剣のような感覚を持っている。それも瞬時に導火線に火がつくかのように、速い。その感覚を止めることはできない。無意識に、危険なものがわかっており、これまでもかなりの確率で事前に回避している。

(黄緑がかった黄色) 感情は人と共有する領域にあると思っている。だから、あらゆる感情に対して、心を開き、否定することなく認めている。その人の手足のように、感情も実在する肉体の一部とらえている。だから、辛い感情にある人の痛みや傷がリアルにわかる。

(黄緑) 感情を恐れていない。ここ2、3ヶ月の間に、自分の感情をあらわにすることに抵抗がなくなった。むしろ自己表現として素直に、感じていることをプレゼンに表したいと思っているし、それがもうできるよ。まだ少し粗い部分はあるが、周囲に十分伝える能力が備わっている。

#### ⑧ 咽喉のチャクラ 〈コミュニケーション・自己表現・自分の夢を追う・望む現実の創造・透聴・過去世・チャネリング・サイコメトリー〉

(濃紺・コバルトブルー) 明らかに光っている。自信という言葉が出てくる。口から発することに、素直に自信がある。感じる事、あるがままだに言葉にできる。相手を問わず、言うべき表現は相手とのバランスを絶妙に感じながらコミュニケーションを取れている。鍛錬の賜物。

(レモン色) 明るい道に並行立ちになっている。そのまま前に向かって道を進むか、後ろに引き返すか半断に迷っている。妨害したり、引き止めるような人や現象は起こっていないが、明るい道に立っていながら、葛藤している。何に葛藤しているのか？を尋ねると、「変化がこわい」と。確実に大きく、それも輝くように変わること無意識的にわかっているのだが、その変容を止める葛藤。今はまだ、それがあなたの心の弱さでもある。まるでテイクオフするのが怖いような、飛行機が飛び立つのが怖いような感覚に似ている。変化への慣れ。少し時間は要しても、いずれ飛び立つ。進んでみたらいい。自分の夢を追うことに自信をもって、楽しんで。夢があること、目指すものがあることが生命活力になる。

(朱色) 炎で屋敷が燃えている。過去世ようだ。屋敷に住む者たちは全員助かったが、燃え盛る家を見ている。全焼。その後、白い屋敷が再建し、生活も順次元通りになっている。その出来事から失ったものは、実はない。植物が枯れて、また再生するのと似ている。過去世のメッセージとして、物がなくなる、失う、捨てることを恐れる必要は全くもってない。必ずや再生する。

(グレーがかった空色) 耳の曇りをとりなさい。もっと透聴能力がある。実際に聴こえているのだが、聴き取るうという意識があまりない。忘れているのか頓着がないのか。聴く意志をもてば、必要な応えはすぐ得られる。むしろ、目からの情報に頼りすぎ。また、感覚で外から得る情報が多いことで疲れ気味。

#### ⑨ 口のチャクラ 〈高次の目的をもった一貫性のある生き方・手本になる・探求する・カリスマ・叡智・豊さの理解〉

(深紅) ベタッとしたペンキや血糊みたい。コウモリが飛んでいる、古城。そこに居たことがある。過去世のひとつかも。中世の窓ガラスがない城。中は快適だが外界と画すような、領土の中でも異質な建物、存在。社交界との関わりや他の男爵のような貴族らとも交流をもっているが、住まいが普通ではない。それが、彼の裏の顔でもあり、表の活動とのバランスを取っている。他の貴族らとともに協力したり、森の整備もやっており、外界との関わりは積極的なのだが。あなたにも、内と外の独自のバランスの取り方がある。一般的にはマネができないような特殊さがある。

(レモン色) 元気やパワーの手本となっている。元気さというのが、スッポンや強壮剤的な強烈的なイメージ。薬や毒性を帯びているが刺激的でもある。

(濃いピンク) 絶対的なカリスマがあるが、他者とも自然に交わることはあるため、寄せ付けられないような威圧感はない。ただし、他者や大人数との関わりは時間やある場所に限定される。あなたが思っている以上に、他者との関わり具合の加減は絶妙にとれている。多くの人が混乱するなか、恵まれている才のひとつ。あなたは、あなたが思う以上に、多くの才に恵まれているのですよ、という指摘の声がある。しかも、それらの才を自由に使えている。使えていないときは、一般的な人たちの影響や感化を受けているとき。他者との差異、個性を認識したほうがよい。稲穂の画像。驕り、天狗になるようなことはない。頭を下げている。

#### ⑩ 感覚のチャクラ 〈感性、感覚、能力、表現力、直感力を高次の目的をもって他者に貢献する・ティーチャー・智慧をもつリーダー〉

(レモン色とピンクが混ざった色合い) 感性は豊かだが、一時的にズレてしまっている。2枚の鏡がモザイクのように配置され、それがズレているために、ちゃんと映っていない。2、3年前の何らかのショックによりズレて、そのままになっている。過去に関わった男性の姿が出てく

る。黒い人。邪という文字が出てくる。この人物がもっていた邪のエネルギーによる。惑わせる、「魔がさす」ようなこと、悪との関わりを持ったエネルギーに接触したようだ。これを払拭するには、相当大変なはず。今は、かなり清めたことにより影響は薄くなっているが、未だ最終段階の課題が1、2個残っている。「情けは人のためならず」「しっかり芯を持って」直感を情けで使うと、ズれる。また、直感を使うときは、必ず自己の芯を胸のあたりで確認するように。この残った課題はあと1ヶ月半ほどで、昇華する。

(紺) 口や耳が疲れている。ホコリやダストが溜まった、音響機器みたい。ホコリをとりのぞき、拭いて磨くこと。サビや故障はない。ゆっくり休むこと。高級感やくつろぎを演出したようなスパ。ホコリを取るとは、頭の思考を止めて空っぽにすること。一日数分、あるいは、寝る前に考えていること、浮かぶことをすべて消すといい。拭いて磨くことは、首をまわしたり、首、顔、頭の凝りを取る。

(薄いピンク) 表皮が向けて、下から新しい皮膚が出てくる。古い感性や感覚が向けて、真皮のように、もうすぐフレッシュな感性が出てくる。自然になる。新しい感性になると、最初は少しとまどうが嬉しくもあり、やがて、強い皮膚(感性)になる。強い感性になると、未知なる身体能力があがる。ゴルフをスイングしている画像。

### ⑪第3の目のチャクラ〈未来を見通すビジョン・透視能力・直観・パーソナルビジョン・アイデア・洞察力・認識・思想・思考・宗教心〉

(濃いめの緑) 宗教歌、賛美歌が聞こえる。耳を澄ますと、いろいろな音や情報が入ってくる。日常的にも、ときどき「今どんな音がするかな」と耳を澄ますといい。それが瞑想効果にもなるし、自分とつながる方法に。

(グレーブルー) 以前より、明るく物事が見えなくなっている、ことに気づいて。明るく受けとる経験が不足しているのと、特定の過去の出来事にとらわれている。その特定の出来事は、もう関わることはほぼないし、関わっても、これまでのような関わりにはならない。いわば不要なもの。「その出来事を処分しなさい」それに関連するものは、もう使わない、と。その経験に関する物質的のを捨てると、ゼロに帰れる。

(白) よく洞察するためのメガネをかけるといい。肉眼のメガネではなく、洞察メガネ。ロイドメガネみたい。それをかけると大きく、ハッキリ、深部が見えるよ、と。かけているいろいろあらためて洞察してごらん、と。

### ⑫王冠のチャクラ〈高次元の情報を受け取る・真の直感・自由意志・生きる姿勢・信念・価値・人道・幽体離脱〉

(ラベンダー系紫) 人を導いている。宗教的なローブをきた、白いヒゲの長い、西洋人風の初老の男性。後ろから貧しい人たち、子供たち、弱い人たちがぞろぞろとついてくる画像。彼は初老だが、精神も体力も頑強。どこにいくのかを尋ねると、この民たちを、今までいたところから連れ出している、自由になるためのところまで連れていくと、答える。「それが私の役目である」と。そこに信念があるようだ。

(やまぶき色) 光を浴びている。日光浴や水浴のように、光を一心に受けている。おそらく、普通のあなたは、いつも光を受けている。この光は守護の働きがあるが、あなたと接した人たちは、あなたから温かさや独特の明るさを感じ取っている。毎日、この光を自分で内観したり瞑想して、見たり感じるといい。

(桃色) 王様の冠が出てくる。戴冠式。地球規模の人類のためになることを、そろそろ考えなさい。今からもうできることがある。それが、今立っている人生の最終ゴールに近い。壮大に感じられるかもしれないが、人類を救うのは、少しでも役に立ちたい、という志があるかどうかだけ。現実的にかけ離れたことではない。

### ⑬アストラルチャクラ〈人類、自然、地球に対するエゴを越えた寛容、共感、協調・あらゆる創造物における神の存在を認識する〉

(ライムグリーン) エコ、自然環境とのつながりがある。これまでは自然から受け入れてもらっていたほうだが、今後はあなたのほうから触れていく、接触していく側。もっと、自然を意識して生活すること。自然環境とつながる意識や志をもつこと。自然はちゃんと応答してくれる。

(レモン色) 自然の中で両手を大きく広げている。気持ちよさそう。あなたは自然や空と共感できる。今度、もっとお話をしてごらん、と。ちゃんとあなたがわかる言葉?で会話ができる。

(うすいサーモンピンク) 自由、自由、自由と3回でてくる。これから比較的短期間のうちに、あなたの自由のレベルが3段階上がる。次の自由では、得たいものを自由に手にするようになる。その次の自由では、宙(空)を自由に歩く、移動できるようになる。3段階目の自由では、あなたは「ただ存在する」自由を実感する。真の解放。解き放つ。

#### 諸説④ (根源・創造主)

(ラベンダー色) 創造主と手をつないでいる。

### 【高次のメッセージ】

〈7月〉 羽・翼を伸ばしなさい。のびのびした気持ちで過ごせば、広がっていく。伸びていく。これまで、肩をすぼめて下を向いていた。羽や翼があると想像してごらん。レジャーもいいし、のびのびすることであればなんでもやってみるといい。今、うまくゆかないと思っていることは、肩をすぼめているからだよ。しょんぼりしているよ、と。天使や擁護するようなスピリッツ

〈8月〉 (天使のような翼をもったスピリッツが) 鉄アレイを持っており、「いつも鍛えている」 霊的な領域でも、鍛錬が必要。鍛えているから明るく解放されていることを示している。力や能力をつけることは、いろいろやってみるといい。ちょっと無理かなと思うくらいでも、やってみてこそ、加減がわかるから。

〈9月〉 「祖父です」と。父方よう。そのとき(9月-秋)になったら話す(霊的にコンタクトする) といって、姿が消えた。霊的なつながりの他に、9月はいろいろな活動を忙しく、楽しくやっているようす。

〈10月〉 勉強、学びをする。意識や関心が変わり、真面目に(これまでも真面目ではあるが、質が違う) 真剣に取り組むこと。あなたのハイヤーセルフからのメッセージ。真剣にやれば、もっと疲れず効率よくのびる。よい師に出逢う。

〈11月〉 父方のご先祖様たちのよう。ココで待っている。お墓参りや、先祖を思う気持ちの象徴。秋の紅葉風景。この頃に、人生の季節も変わる。

〈12月〉 太陽のように光輝く中にいる存在。スピリッツガイド。あなたをふだんから守護している存在らしい(うなずいている)。にこやかな表情、絶大な安心感を与える、とても温かい。何か特別に言ってくることはないが、その存在の姿が言葉を超越してあなたにつながっている。